

就 任 挨 拶

副 会 長
小 豆 畑 茂



この度、副会長を拝命しました小豆畑でございます。関係者のご支援ご協力を賜りつつ、大任を務め上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

現在は管掌役員の立場で知的財産に関与していますが、長い間、研究職についていましたので、特許の重要性については良く知っているつもりです。私が日立製作所に入社した頃は大気汚染が社会的な問題であり、火力発電所からの窒素酸化物の除去装置や燃焼技術の開発に従事しました。企業での研究は特許が何より重要との教育を受け、常に関連する分野の特許公報や公開公報を見る習慣を身に付けました。当時は現在のような計算機システムが発達していなかったため、膨大な量の要旨集をめくりながら特許調査した思い出があります。また、特許請求範囲、従来技術、発明の特徴、公知例比較、実施例の書き方の訓練を受けましたが、なかなか思うようには書けず、何度も手直しを受けました。審査官からの拒絶理由に対する反証には大分苦労しました。特に外国の審査では、公知例にドイツ語の特許が使われたこともあり、辞書で一語一語訳し特許を読んだこともありました。特許の対象も、顕現性が容易な、ものの形状や構造、システムから、考え方、計算法やビジネスモデル等も含まれるようになり、時代の流れで特許の内容も変わります。これまでは燃焼装置の形状の工夫を請求範囲にしていたのが、その形状を採用する技術的な理由をクレームにするべきだったと後になって悔やんだことを今でも覚えています。研究開発の成果を知的財産で保護し、事業の継続性を確保することが企業にとって重要であり、私も多くの発明を出願しました。

さて、地球温暖化の防止、低炭素社会の実現が急務の課題となっています。事業活動のグローバル化、新興国の急速な経済発展に伴い、それらの問題を地球規模で解決していかなければなりません。そのためには、先進国が有する環境技術を活用する必要があります。その一方で、知的財産の制約を無くすことが環境技術の移転を促進する、またこれとは逆に、知的財産を尊重しないと技術移転の動機が損なわれるとの議論があることも聞いています。この先進国と新興国との議論の解消が環境問題への対応には重要で、このような問題解決への知財協への期待が大きいと思います。また他にも多くの分野で知財協の活躍の場があるでしょう。今般、拝命した副会長の職を通して、あらためて知財の重要性を学ばせていただき、微力ながらみなさまのお力になれるよう努力いたします。